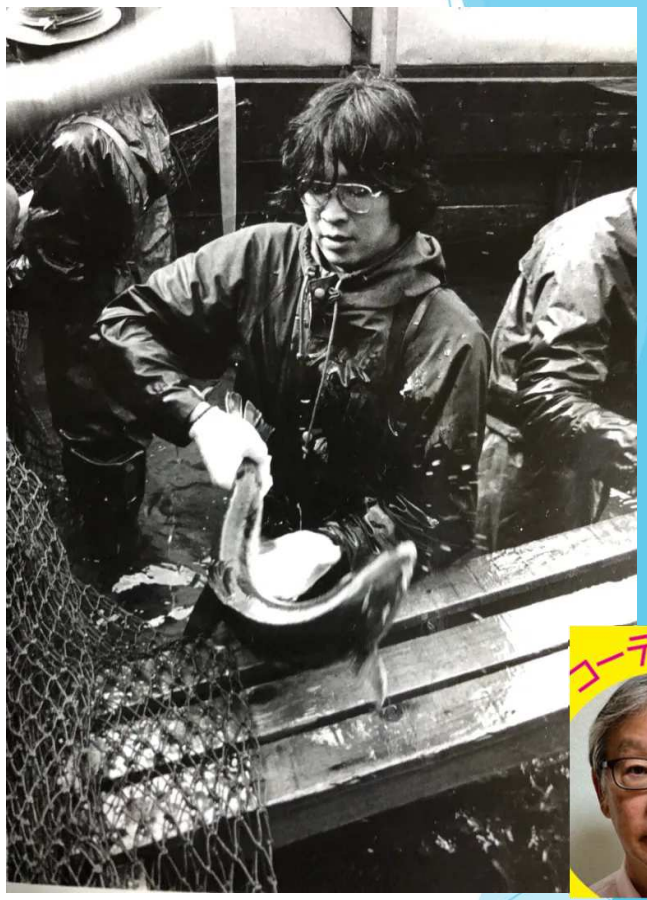
2021年に実施した後継者確保・育成に向けた オンラインスタディツアー

採卵は他人には任せられない**尾形会長**



学生時代の千歳ふ化場実習の**桂参事**

さけ・ます放流緊急転換事業講習会　Webセミナー

山形県鮭人工孵化事業連合会

令和4年9月9日

オンライン
スタディツアー
2021

山形県遊佐町と北海道オホーツク
そして北は北海道から南は山口県
までの参加者をオンラインで結ぶ

【開催概要】

日　　時：2021年第1回10月24日・第2回1月23日・第3回 3月6日
配信方法：オンラインセミナー形式（zoom）
参 加 費 ：無料
主　　催：遊佐町めじか地域振興協議会
企画運営：吹浦笑店

【目　的】

- 次世代の担い手候補を見据えた、めじか協議会＆遊佐町の情報発信
- 今後の漁業体験やインターンなどを狙うスタディーツアー
- 業界全体にとっても新しい風になるようなロールモデルを目指す

【後　援】

- 山形県、遊佐町、山形県鮭人工孵化事業連合会、新栄水産有限会社

【協　力】

- 国立研究開発法人水産研究・教育機構　水産大学校　山本教授
- 山形県鮭人工孵化事業連合会　桂 参事
- 株式会社オホーツク活魚　藤本信治 氏
- 一般社団法人　全国さけ・ます増殖振興会

遊佐町めじか地域振興協議会

【設　立】
平成25年1月

【目　的】
協議会は、産地水産業強化計画に基づき、関係団体の相互協議と地域の重要な水産資源であるさけ（北海道で漁獲の際はめじかと呼ばれる）の増殖を通して、北海道との交流を続けながら地域の水産業の強化を図ること

【構成団体】
鮭漁業生産組合、地域の各種団体、水産会社など19団体と北海道の宗谷、北見の増殖協会など7つのオブザーバーから構成され、これら関係団体が知恵を出し合い、地域の重要な水産資源であるさけ（北海道のめじかを含めて）の増殖を図る

め　じ　か　と　は　？

- 本県の月光川水系や新潟県三面川が主な生まれ故郷
- ベーリング海で成長した後、回帰途中のサケが北海道オホーツク西海岸で10月頃定置網で採捕されるサケで、脂がのり、サケの中でもトキシラズと並ぶ高級品

目と鼻先が近いことから名付けられた

◆めじか資源について

- 北海道日本海側とオホーツク沿岸で漁獲されるめじかのうち0.45%が本州日本海側由来の鮭と言われている。
- 山形県由来が最も多く、次いで新潟県、富山県、秋田県、石川県、青森県由来と言われている

オンラインスタディツアー2021　参加者

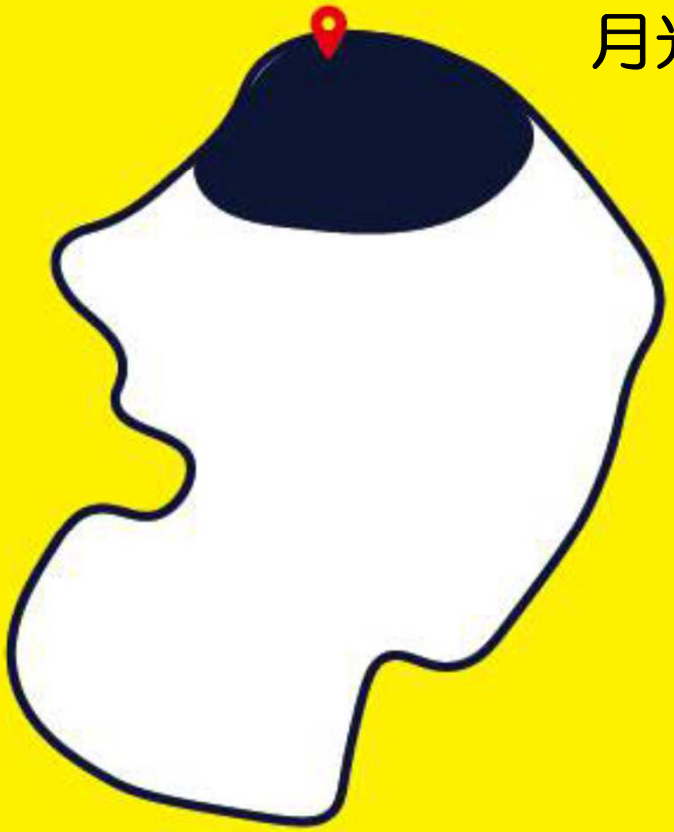
所　　属（　学　生　）
北海道大学水産学部（1）
北海道大学文学部（1）
山形大学（1）
山形大学農学部（1）
東北芸術工科大学（1）
東京大学大学院農学生命科学研究科（1）
水産大学校（5）
山口県立大津緑洋高校（5）
女子学院中学（1）

（　）内は人数

所　　属（　一　般　）
地域おこし協力隊（1）
いなか暮らし遊佐応援団（1）
会社員（1）
松本香料（2）
大学教員（1）
団体職員・団体役員（2）
公務員（2）
高校教師（2）
鰺ヶ沢役場農林水産課（1）
（一社）　全国さけます増殖振興会（1）
山形県鮭人工孵化事業連合会（1）
山形県農林水産部水産振興課（3）
山形県水産研究所（1）

遊佐町

秋田県との県境、山形県最北端の町
鳥海山麓にあり、湧水が有名
美味しい水でつくる米は一級品！



月光川水系

No.7

ちょっと遊佐町の紹介を・・・

遊佐町のシンボル鳥海山

鳥海山の湧き水がまりもを育む

鳥海山の湧き水が吹浦産
ブランドいわがきを育む

鳥海山の湧き水が山形県一
美味しい遊佐米を育む

米と水が美味しいなら当然日本酒も・・・　　いわがきに日本酒最高！

ますかわ
枡川
鮭漁業生産組合

尾形修一郎
組合長

みのわ
箕輪
鮭漁業生産組合

佐藤仁
組合長

高瀬川
鮭漁業生産組合

佐藤喜巳夫
組合長

No.9

月光川水系の農業と孵化事業のサイクル（3組合長は農家）

持続可能な社会のヒントがここに?!

つくり育む鮭と米

新規参入者のためにも米作り以外の夏場の収入源が必要？

鮭の孵化事業
10月～3月

採卵 → 孵化 → 放流

今、ココ！

米づくり
4月～9月

第１弾でご登壇いただいた
ゲストスピーカー
北海道定置漁業協会宗谷支部 支部長
藤本信治氏
猿払漁協定置部会 副部会長 / 株式会社オホーツク活魚 代表取締役
自ら水揚げもする敏腕経営者。
「めじか」のキーパーソン。

めじか
鮭が旨い!!
北海道直送!!
天然モノの鮭だから
美味しさが違う!
その身にぎゅっと込められた
たっぷりの旨味をめしあがれ!
「めじか鮭」ならではの
ハラスの厚みと深い味わい
たっぷりの脂乗り
めじか鮭の
塩焼き定食
700円(税込)
焼
めじか鮭の
フライ&
チキン南蛮定食
750円(税込)
揚
めじか鮭の
やきめし
700円(税込)
大盛り 870円(税込)
炒

今が旬。数段上の美味しい筋子入り極上鮭をお届けいたします。
全漁獲量のたった1割しか獲れない“幻”の鮭
オホーツク
越幸産
極上鮮めじか鮭3kg

めじかの故郷
枡川孵化場

参加者にはイノベータとして意見・提案をいただく

皆さんに考えていただきたいこと

水産大学校
山本教授

1. 鮭・めじかの発信（市場へ）

2. 若者への魅力発信

（どんな仕組み、魅力、働き方…ならば薦めたい？自分がやってみたい？）

3. 未来のために今できること

キーワード：持続可能な社会、CO2 削減、
カーボンオフセット、自然エネルギー等…

第1弾から第3弾まで、さけ孵化事業のテーマごとに現場からオンライン生中継

第１弾　さけのお母さんから次世代へ！

～親魚採捕から採卵・人工授精～

第２弾　さけの赤ちゃんの子育て奮闘記！

～卵管理から孵化・稚魚飼育～

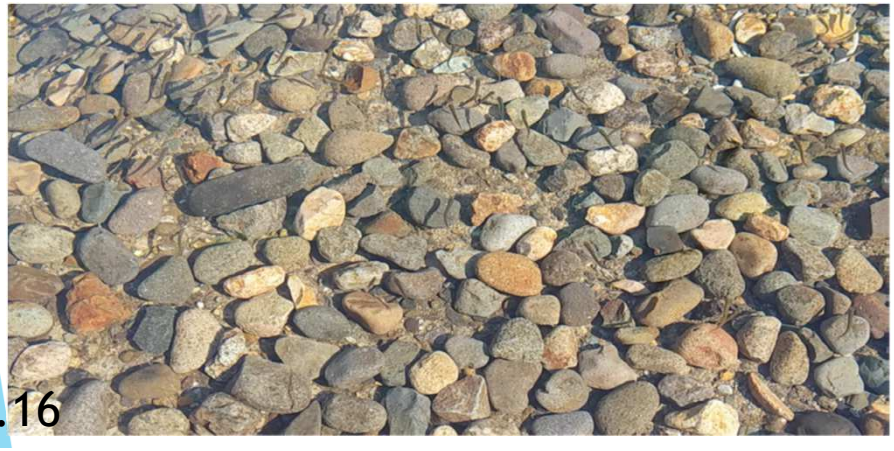
第３弾　さけの赤ちゃん　いざ大海へ！

～稚魚の放流～

箕　輪　鮭　漁　業　生　産　組　合

枡　川　鮭　漁　業　生　産　組　合

高　瀬　川　鮭　漁　業　生　産　組　合



冬来れば母川回帰の本能に
目覚めて愛し鮭のぼりくる

齋藤　勇

先人たちの長年の人工ふ化事業の辛苦のもと、月光川で生を受けた鮭の稚魚が、遠く北洋の旅を経て、再び母なる川月光川の清流を慕い帰ってくる姿を詠いあげた一首。南遊佐村（現酒田市）に生まれ育った歌人。齋藤　勇氏の作

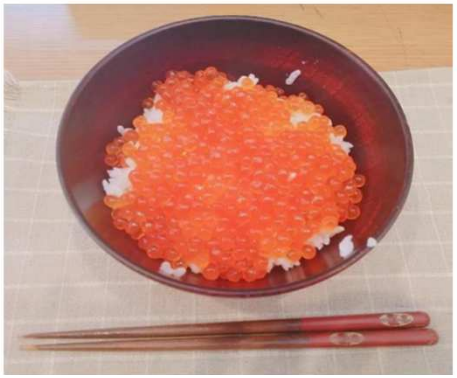
お昼ごはんには・・・

枡川産イクラ250ｇを事前に送り届けて

受講者の皆さんにツアーが始まる前に
オリジナルイクラ丼を作ってもらいました

（残念ながらイクラは学生さんだけで
一般聴講者には・・・）

受講者皆さんのオリジナルイクラ丼



お昼ご飯は、オリジナルイクラ丼でハイチーズ！！

全員参加型ディスカッション
No.20

ツアー参加者へのアンケート内容（第一弾～第三弾を通して）

１　一番印象に残ったセクション・シーンはどこか
２　１の回答のセクションの中で特にどこが印象にのこりましたか
３　はじめに（山形県・鮭の概要）の感想・良かった点・悪かった点・改善点など
４　高瀬川、箕輪、枡川の3組合への感想、意見、学んだこと、メッセージ
５　藤本氏への感想、意見、学んだこと、メッセージ
６　ランチの感想、意見
７　トークセッションの感想、意見、学んだこと
８　質問、ディスカッションの感想、意見、学んだこと
９　もし現地で<u>インターンをすると仮定した場合、どのくらいの日数を希望し、どんなことを学びたいですか</u>
10　<u>この仕事（孵化事業）の魅力を感じるか？　我々と若い方が感じる魅力のギャップについて</u>
11　<u>鮭の孵化事業を見てどんな魅力を感じましたか</u>
12　<u>この事業をやるとなった場合の可能性について</u>
13　お気づきの点、要望、改善点がありますか
14　知りたい内容、見たいシーンがありますか

全員ディスカッションと
アンケート結果から・・・

Q９：もし現地でインターンをすると仮定した場合、どのくらいの日数を希望し、どんなことを学びたいですか

Ａ：1～2泊程度が半数以上、3泊以上も約3割。
Ａ：孵化事業のほか、観光を含めそこに住む人とも話せるツアー
Ａ：採捕・採卵時期と放流時期に現地で作業ができる「鮭に里親事業」

Q10：鮭の孵化事業を見てどんな魅力を感じましたか

Ａ：「こだわり」を持って真摯に生き物と向き合うこと
Ａ：自然豊かな場所で働けるのは魅力的
Ａ：丹精込め稚魚を放流し、やがて回帰するという感動と達成感
Ａ：生き物の命をつなぐ手助けの一役を担う点は大変魅力的

Q11：この仕事（孵化事業）の魅力を感じるか？
我々と若い方が感じる魅力のギャップについて

※魅力的な仕事であるとの回答がある一方で次の様な厳しい意見もある

Ａ：資源造成が主目的の圧力を受けながらの仕事に魅力を感じない
Ａ：従事者が味わう「稚魚放流までの苦労と、親魚の回帰の喜び」が若い方が共有できない
Ａ：達成感より快適にすごせる場所や給料が重要視
Ａ：実際に現場で活動しないと魅力があるかどうかの判断は難しい

Q12：その他、自由な感想・意見など

Ａ：藤本氏のような漁師であり経営者の視点から貴重な意見が聞けた
Ａ：放流事業による収入と農業による収入の割合を教えてほしい
Ａ：小川凜君の枝幸、遊佐町体験談がオンラインでは伝わらないめじかや遊佐の良さが伝わった

遊佐町めじか地域振興協議会への提案書
提案者：早川千尋□女子学院中学校

鮭の発信という中でSNSの利用は必要不可欠に感じました。今まで山形県の鮭が受精から、稚魚へ成長するまで手をかけられて成長していることを知らなかったのでそのことを発信することには意味があり、それだけで付加価値が生まれると思います。ラベルの取得も今後不可欠になっていくと感じましたが、そのラベルが何を表しているか知ってもらうことも必要だと思いました。□ℵ□_ についてのアピールなども意味があると思います。また、作業の効率化により値段を下げることも輸入品と戦うためには必要なのかもしれないと思いました。

私の中では水産業は重労働であるという印象が強いため、その印象を払拭できるような体験をできるワークショップは重要だと思いました。自分主体となった商品開発や、システムの開発などができるとやりがいを感じることができそうなので働いてみたいと感じます。

私の世代では特に水産業は体力が非常に多く必要であり、身体面へのストレスが大きくなってしまい、漁業以外何もできなくなってしまうというマイナスのイメージがあるとおもうので、そのイメージが払しょくできれば・・・・・・・・・・

千尋さんは「何も知らない身でありながら」と、ことわって頂きましたが中学生でこれだけの意見を記せるなど、私では到底できません。大変勉強になりました。特に、将来の補償は当然ですね。ロマンだけで生活の安定は出来ませんからね。
千尋さん、是非現場を見学にご両親と一緒においでいただけませんか？
仕事も楽しく出来るようにいろいろ工夫していますよ。
私達の一番の感激は、僅か1ｇで放流した稚魚が４年後大きく成長し元気にしかも、沢山母川回帰する姿を見る時です。
でも、この事を持続させ発展させていくには若い方々の感性が必要です。

レポート拝見させていただきました。鮭の養殖の件ですが、我々漁業生産組合で行なっているのは人工孵化事業です。５cm・１gまで育てた稚魚を放流すると、4年後には重さ4,000～5,000倍の大きさになってふるさとの川に戻ってきます。養殖は、大企業ならば可能かもしれません。現時点において、我々のような小さな生産組合では養殖は養殖が現実的ではなくまた必要もないと感じています

さまざまな課題からクリアすべきヒントを見出していますね。
将来、水産関係で商品開発やシステム開発に携わっている早川さんが見えるようです。

遊佐町めじか地域振興協議会への提案書
提案者：永洞史織/山形大学農学部食料生命環境学科 3 年

持続可能性について、現在、鮭資源の持続もそうであるが、人的資源も重要な課題で あると考える。 鮭資源の持続については、まず鮭についてもっと知らねばならないと感じた。結局回 帰率が少ない要因は何なのか、母川を見分け遡上してくる判別方法は匂いだけなのか、 など鮭が産卵をするにあたっての習性はよくわかっていない。

今後は地球温暖化によっ て温度が上がっているというが、そうなると魚がどんどん北上し、今まで獲れていたと ころで魚が獲れなくなる可能性があることも言われているが、要因はそれだけなのかど うかもわからないうえ、すぐにどうしたら解決するかというのは難しい。鮭の生態を知 り、キャパオーバーで病気をするなど、なるべく鮭を減らさないような取り組みを続け つつも、生態についての理解が必要があると感じた。人的資源については、このようなスタディツアー、あるいはビデオを撮るなどし、そ のイベントを学校や一般の方で受けてもらう形で、聞いて、知って、考える人の母数を 増やすことがまず重要なのではないかと感じた。実際にこうして孵化場を見に行ける人 は少ないと思うが、ビデオであれば移動せずに多くの人が見られ、時間の制約も少なく なるので参加しやすいと感じる。 また、そのように発信することを考えるのであれば、内容を平易で、図や実際の道具の 写真(網など)を用い、より分かりやすく、提示した方がよいのではと感じた。 さらに、その段階で実際の働くイメージも加えたいと感じる。かくいう私も、情けない が男性が働く力仕事なのかと誤解をしていたし・・・・・・・・・・・・

人的資源の母数を増やす情報発信が有効であり、実際の作業が大変な労働だけではない、女性にしかできないような繊細な受精の仕方や孵化管理なども考えていきます。
動画を駆使した実際の作業がわかるＳＮＳ発信も必要ですね！

私達が年々厳しくなる環境で鮭の人工孵化事業を継続するには、如何にして野生魚により近い稚魚を育て放流出来るかに掛かっていると考えています。この事を教えて下さったのは、めじか交流をさせていただいているオホーツク地方北見増殖協会の増川さんと言う方です。この出会いが私達に希望の光を下さったと言えます。よく『一人前になるには１０年は掛かる』と話す方がいますが決してそんな事はありません。むしろ、染まっていないことがとても大切です。日本中の海から魚が少なくなっていますがこんな時こそ私達のチャンスです。

第２弾のツアー終了後に一人の学生が枝幸と遊佐町を訪問したいという連絡がありました！！！

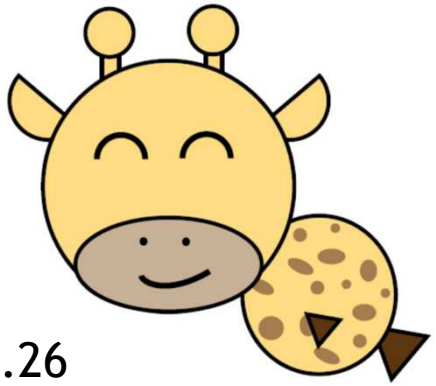
小川凜くんのぷろふぃーる

◇北海道大学文学部地域科学研究室 4年生

◇主にやったこと

- 海外放浪
- 一次生産現場のフィールドワーク（遊び）
- 低利用魚を用いた魚醤作成
- 東京の仲卸でのインターン（バイト）
  - ◆株式会社フーディソン
- 漁協でのフィールドワーク（バイト）
  - ◆むかわ漁協
- 卒論執筆
- メディア運営

Year	Keyword
2016	自信喪失
2017	海外放浪
2018	食・部活
2019	食・教育
2020	水産流通（東京）
2021	フィールドワーク
2022	卒論（昆布）



好きな魚は「イワシ」だよ。

Section3
10:30～

学生レポート
オホーツク＆遊佐訪問レポート

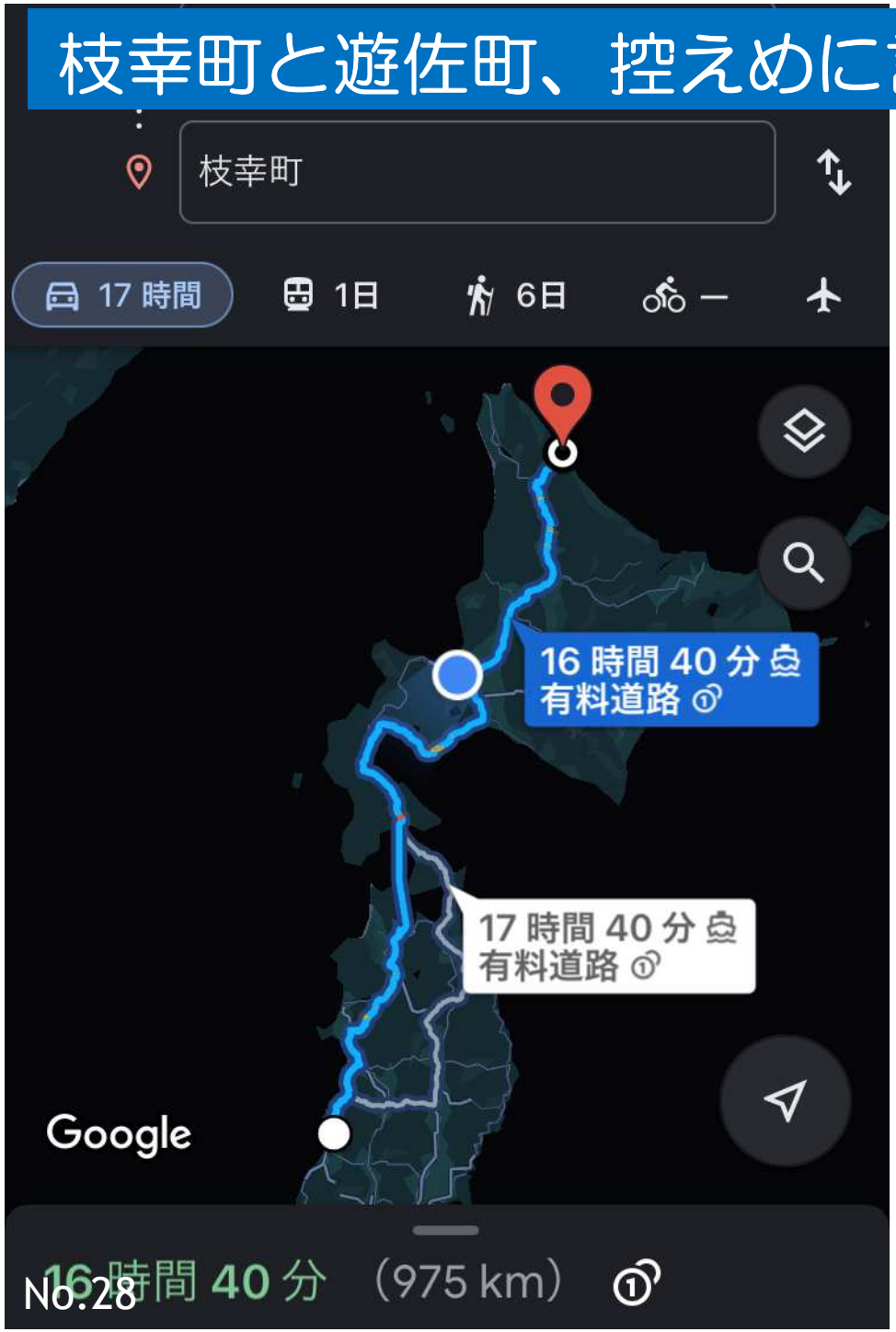
@オホーツク

「めじか」が繋ぐ新たなご縁

@遊佐

北海道大学文学部人文科学科
小川 凛さん

枝幸町と遊佐町、控えめに言って最高すぎたが・・・



日　程	概　要
2月 4～5日	北海道枝幸町へ ・ご飯 （めじか料理） ・お話 ・工場見学 ・博物館
2月 20～27日	山形県遊佐町へ ・お話 ・施設見学 ・稚魚放流

オホーツクミュージアムえさしにて

左から、オホーツクミュージアム職員の方々
小川凛さん、藤本さん、鈴木さん（地域おこし協力隊）

No.29

小川凛くんが
北海道枝幸町訪問をしてみて・・・

◇獲る漁業&産地加工を行うことの重要性

●その際、産地における関係者間の意見調整が非常にネックになる？

・仕入れをどうするのか？

・販路の食い合い防ぐ

◇物流の重要性

●結局のところ、モノを生産したとて、運ぶ手段を見つけなければ難しい

・販路開拓と物流構築は同時並行で進めなければならない

◇目が飛び出るほど「めじか」が美味し

・現地に行くことは「食べる」ことでもあり、めじかへの興味UP

⇒やはり、”関係人口”を増やすためにはまず気軽に訪れることは重要

枡川ふ化場事務室

左から、鈴木さん（地域おこし協力隊）、小川凛さん、
佐藤さん（枡川期待の新人）、尾形組合長

小川凛くんが
山形県遊佐町訪問をしてみて・・・

◇孵化事業はめじかの故郷など重要だが、喜んで後継者になる人は少ない？
- 兼業しなければ生活することができない？（ex.農業）
- ただ、兼業先をうまく調整することができたら行きたい人いるかも
  ※ご飯と自然と歴史◎

◇というより、地域の人に知られてなさすぎる問題
- 2年目の地域おこし協力隊の人も孵化事業については知っていたが、めじかのことは知らず
- 聞くところによると、地元の人も全然知らないらしい
  - ★新規参入のためには兼業が必要不可欠→地元の人の協力が必要
  - →地元の人に知ってもらうことがまず第一に重要なのでは

◇10月に鮭の遡上を見に遊佐まで行きますが興味ある人いますか？
- 現地に行く事の大切さ！！
  もし興味ある人いたら一緒に見学に行きましょう

⇒この問いかけに3人の聴講者が手をあげた！！

3回のオンラインツアーを終えて
主催のめじか協議会の尾形会長が

感じたこと
思ったこと
これからのこと

会長の思うまま語って下さい！！

お揃いの鮭
切り身Ｔシャツ
終了後に関係者でハイチーズ
遊佐町役場の菅原さん
大変お世話になりました。
新栄水産の
石垣さん
吹浦笑店の
村上さん
吹浦笑店の
石山さん
No.34